

平成25年度第1回花巻市地域公共交通会議録

日 時 平成25年10月8日(火) 午後1時30分～午後2時30分

場 所 花巻市役所本庁舎3階 委員会室

出席者 委員24名中18名出席

- 内 容
- 1 開会
 - 2 委員紹介
 - 3 会長選出
 - 4 説明
 - (1) 花巻市地域公共交通会議について
 - (2) 市内の公共交通の現状について
 - 5 協議
 - (1) 花巻市公共交通計画の策定について
 - 6 その他
 - 7 閉 会

事務局(永田課長) これより平成25年度第1回の花巻市地域公共交通会議を開催させていただきます。はじめに所属団体の人事異動や役員改選により新たに委員になった方もいらっしゃいますので、私から紹介させていただきます。なお、新任の委員におかれましては、大変恐縮ではありますが、既に辞令書をお配りしております。

《出席委員を紹介》

事務局(永田課長) 次に会長の選出に入ります。資料の1ページをご覧ください。前会長は、所属団体の役員改選により、当公共交通会議委員並びに会長を辞任いたしました。よって、会長の辞任を踏まえまして、設置要綱に基づき会長を選出しようとするものです。設置要綱第5条第1項には、会長及び副会長を各1名置き、委員の互選により定めるとありますが、皆様にお諮りしますが、どのようにして選出することとしてよろしいでしょうか。

立花委員 事務局案がありましたら、よろしくお願いします。

佐藤委員 事務局案との発言がありましたがいかがでしょうか。

《委員より異議なし》

事務局(永田課長) 事務局案といたしまして、会長に太田地区振興会の佐藤委員にお願いしたいと考えていますが、よろしいでしょうか。

《委員より異議なし》

事務局(永田課長) 異議なしとのお声がありましたので、佐藤委員に会長をお願いしたいと思います。それでは、会長席にご移動し、挨拶をお願いします。

佐藤会長 それでは、ただいま皆様方からご推挙いただきました佐藤です。不慣れではありますが、皆様方からのご協力をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

事務局（永田課長） ありがとうございます。設置要綱には、会長は会務を総括し、議長となると規定されていますので、今後の協議の議長は佐藤会長にお願いいたします。

佐藤会長 それでは、進めてまいります。4の説明の「(1) 花巻市地域公共交通会議について」ですが、事務局より説明願います。

《説明》 (1) 花巻市地域公共交通会議について

佐藤会長 説明が終わりましたが、ご質問のある方はいらっしゃいますか。

《委員より質問等なし》

佐藤会長 質問等がなければ、続いて「(2) 市内の公共交通の現状について」を説明願います。

《説明》 (2) 市内の公共交通の現状について

佐藤会長 説明が終わりましたが、ご質問のある方はいらっしゃいますか。

《委員より質問等なし》

佐藤会長 それでは4の説明を終わります。続きまして、5の協議の「(1) 花巻市公共交通計画の策定について」を事務局より説明願います。

《協議》 (1) 花巻市公共交通計画の策定について

佐藤会長 説明が終わりましたが、ご質問のある方はいらっしゃいますか。

佐々木（健）委員 2ページの課題は運営側の視点に記載されていますが、目指す姿には「公共交通を必要とする市民」とあるので、市民目線での考え方で、例えば、利用者が減少しているのは、そもそも公共交通を必要とする方が減ったとか、人口減少が要因なのか、それとも、不便だから使えないとか利用する側の視点で懇談会等で聞き取りでどのように反映されていくのか。この計画の立て方とすると、利用者自体は減少しているが、真に利用したい人は少数いるので、この予約制とかの流れにはなると思いますが、市民視点があるとすればどのようなものがありますか。

事務局（永田課長） バスの便数や発着時間が希望する内容ではないから、使いたくても使えないという声も拝聴します。結果的に手段はあっても使えない、そうすると利用者が減少して、追い討ちをかけるかのように減便や一部路線廃止ということにつながります。この会議に先立ちまして、来年度、減便や路線廃止となる地区で協議を進めているところがあります。そこでは、「今は利用しないが、将来的にはバスを利用すると思うから、バスを残してほしい。」という方がいます。しかし、その5年後や10年後ではなく、バス事業者からすると今が厳しい状況になっているので、再編計画が示されています。バス利用者からすると、「将来的に利用すると思うから残してほしい。」「使いやすような時間にしてほしい。」という意見もありました。

阿部委員 どんどん減る一方で移動手段がない高齢者は増えていますが、今現在でバス路線が無いところでも、予約型のものができる可能性があるということでしょうか。

事務局（永田課長） 現在で、路線バスが運行されていないところに、新たに路線バスを運行する可能性は無いと思います。ですから、市の考え方として、現在は路線バスが無いけども、公共交通を必要とする方はいらっしゃるところは、その地区と協議させていただいて、新たに予約乗合交通を導入したいというものであります。

阿部委員 現在の予約乗合交通を導入しているエリア以外でも、要望しただけでは可能ということですね。デマンドタクシーの方が大変魅力があります。移動手段を持たない高齢者が課題となっていますから、むしろデマンドタクシーに関心があります。路線バスは運行しても利用しないと思いますので、デマンドタクシーに力を入れてもらえれば良いと思います。

菅原委員 先ほどの説明に「花巻市公共交通基本計画」を見直す又は新たに作り直すとなりましたが、平成20年3月の基本計画の存在はどのようになりますか。

事務局（八重樫主任） 平成20年3月に策定した基本計画ですが、合併後の公共交通サービスの平準化を図る目的等で策定されました。この計画と二枚看板で「花巻市公共交通総合連携計画」としています。この計画は、平成20年度から平成27年度まで計画期間としています。この連携計画によって、平成20年から平成22年までの3年間に地域公共活性化再生総合事業補助金という国庫補助を受けております。この連携計画自体が、平成27年度まで期間として東北運輸局長に認定いただいているものです。今般の公共交通計画は、詳細な内容を記載していないビジョン的な内容としていますので、総合連携計画を廃止することについては、運輸支局のご指導をいただきたいところとなっています。

菅原委員 関連して、素案は大枠な記載となっていますが、今後、地域の説明やパブリックコメントを進める中で、どの程度までに詳細な内容になるのでしょうか。それとも、この内容で策定して、今後、別な計画をつくるのでしょうか。

事務局（永田課長） ご指摘のとおり、この計画は10年間の計画で、大枠の内容を記載しています。では、デマンドタクシーを拡大するとか、石鳥谷地域にいつ循環バスが運行するとか、地域での意見交換会に入れば、たくさん質問をいただくと思いますが、市としても実施計画を持ち合わせていません。あくまでも、これからの行政の進め方としましても、地域との意見交換や公共交通会議での協議を踏まえて、策定していこうと考えています。しかし、アクションプランは、地域と話をしたうえで進めていきたいと思いますので、市からのアクションもあります。やはり地域からの要望や思いが出てから協議を進めたうえで、デマンドタクシーなどが運行するものと考えています。ですので、いつどこで何をするかということは持ち合わせていません。ただ、10年間の中でもこの計画を推進していこうと思いますし、路線バスの再編が今後進められていくと思いますので、いずれデマンドタクシーの拡大が進んでいくと考えています。

佐藤会長 ほかにありませんか。説明でもありましたが、今後、地区での意見交換会が開かれるようですので、その後、案が示されるようですので、本日はよろしいでしょうか。

《委員より異議なし》

佐藤会長 協議が全て終わりました。6のその他ですが、事務局より何かありますか。

事務局（永田課長） 事務局からは特段ありませんが、委員の皆様から何かありませんか。

小原委員 ニーズを交通会議が把握していない段階では、10年の計画ありきで予算を減らそうと感じる。本来のニーズを踏まえた中で、協議が行われるべきだと思います。これから意見交換が行われるということですので、事務局にしっかりニーズを把握してもらって、次回の会議では中身ある会議にしてほしいと思います。

事務局（永田課長） 小原委員より予算を減らすという発言がありましたが、市では、限りある財源を減らそうということではありません。平成20年度からスタートした花巻市公共交通基本計画に基づき公共交通施策を展開していますが、公共交通基本計画では、路線バスの維持が大きな目玉となっています。先ほどの公共交通の現状でもご説明しましたが、平成20年度と比較しましても、相当数の路線が路線廃止や減便となっています。それは、バス事業者に対して、補助を増額すればいいという話ではなく、補助金体質からの脱却による経営改善を図っていこうとするものです。決して補助金を減らそうと思っているものではなく、花巻市としてどうしようもない状態にあるので、石鳥谷と東和で一定の利用実績があつて、利用者からも喜ばれている予約応答型乗合交通を全域に広げて、需要があるときに運行しようというものです。今のバスは、利用者がいなくても走らなければなりませんので、収入はゼロでも経費はかかることとなります。予約応答型乗合交通は予約制ですので、予約が無ければ車は動きませんので、経費もかかりません。そういった形に切り替えることで、高齢者等が予約さえすれば、利用することができます。そういった形で公共交通を今後守っていきたいというものです。

佐藤会長 これで私の職務は終わりたいと思います。ありがとうございます。

事務局（永田課長） それでは、これで平成25年度第1回の花巻市地域公共交通会議を閉会させていただきます。ありがとうございます。